

教科	コミュニケーション技術	学科・学年	教養福祉科・3年	単位数	2単位
学習到達目標	対人援助におけるコミュニケーションに関する知識と技術を学び、介護を必要とする人の自立生活を支援する介護福祉援助活動に活用する能力と態度を身に付ける。				
使用教科書・副教材	「コミュニケーション技術」(実教出版) 「新・介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術」(中央法規)				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 コミュニケーションの意義と役割について関心を持ち、意欲的に学習している。</p> <p>【思考・判断・表現】 対人援助におけるコミュニケーションの諸問題について考えられる。介護を必要とする人の自立生活支援の現状について考え、自分の考えを発表できる。</p> <p>【技能】 コミュニケーションの技法を身に付け、実践できる。</p> <p>【知識・理解】 コミュニケーションの意義と役割を理解するとともに、基礎的・基本的な知識を理解している。</p>				
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。				
授業の受け方及び学習方法	レポート、プリント等はしっかり取り組み、提出期限は守る。 グループワークに意欲的に参加する。				
学 期	項 目		学習のねらい		
1 学期	介護福祉における コミュニケーション 利用者・家族との コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義や目的、役割を理解する。 ・利用者や利用者を取り巻く人々との関係づくりを知る。 ・介護現場での正しい言葉遣いを知る。 ・受け止めるコミュニケーションに必要な介護者の姿勢・態度を理解する。 ・利用者に変化を与えるコミュニケーションについて理解する。 ・具体的なケアの場面におけるコミュニケーションの取り方を理解する。 ・利用者・利用者を支える家族とのコミュニケーションについて理解する。 		
2 学期	障害のある利用者との コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの必要性と傾聴するときの心構えを理解する。 ・さまざまな障害に応じたコミュニケーションの取り方を知る。 		
3 学期	介護におけるチームの コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・介護記録の重要性を知り、記録を書く留意点を理解する。 ・会議の行い方や効率的な進め方を理解する。 		